



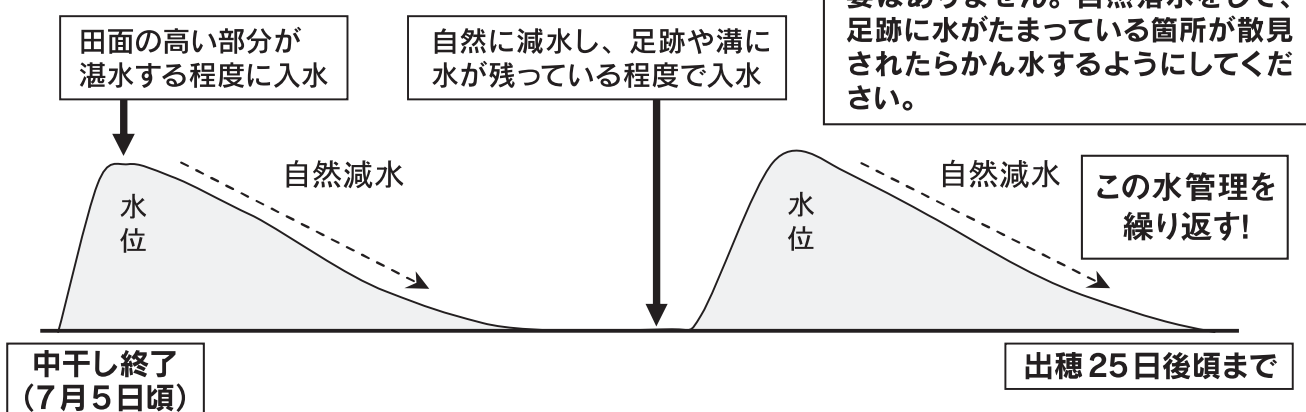
6月16日に新潟地方気象台が発表した1か月予報（6月18日～7月17日）では、向こう1か月の気温は高く、降水量と日照時間は、ほぼ平年並みの見込みです。平年と同様曇りや雨の日が多くなると予想されることから適切な水管理と中間追肥、穂肥施用で品質・食味を確保しましょう！また、気温の高い日に農作業を行う場合はこまめに水分補給をし、熱中症に注意しましょう。

稲作技術情報

間もなく中干し終了時期を迎えます！！

中干しが生殖成長期（幼穂形成期）まで行われると、根域が縮小し、高温年では整粒歩合が低下するため、中干しの程度は小ヒビまでとし、**遅くとも出穂期1か月前までを目安に終了し、入水を再開しましょう。**

【中干し終了後の水管理のイメージ図】



中干し終了後は「水尻を止めた状態で入水と自然減水を繰り返す」水管理を行いましょう。

水資源の有効的な活用について

水は貴重な資源です。水系を考慮し、地域内で最大限に水を活用できるようご協力をお願いいたします。また、かけ流しは絶対に行わないようにしてください。

基本技術の励行

「2回目時期に重点を置いた穂肥施用の徹底」

1. 穂肥の効果

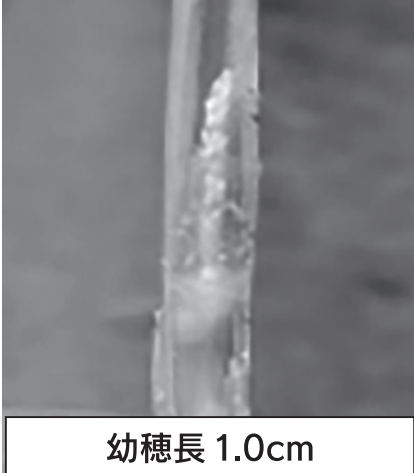
生育診断に基づく穂肥施用は収量を安定させ、品質・食味を良好にする効果があります。1回目の穂肥は、下位節間の伸長に大きく影響することから、生育診断により施用時期、施用量の判断を行いましょう。また、登熟向上と後期栄養の確保につながることから、2回目の穂肥は確実に施用しましょう。

今年度も穂肥指導会を開催します！！

※詳細につきましては、あぜみち本号5ページをご覧ください。

2. 穂肥施用の判断目安と確認方法

～1回目穂肥時期～
出穂期18～15日前（幼穂長1.0～2.0cm）

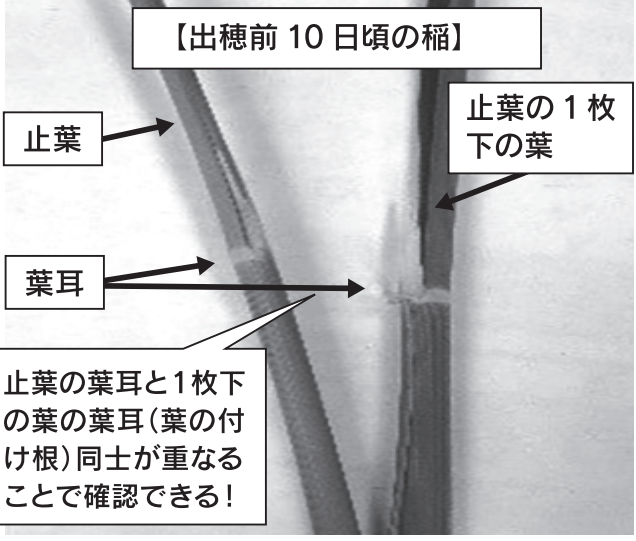


幼穂長 1.0cm

幼穂長は圃場間差があるため、圃場ごとに幼穂長を確認し適期に穂肥を施用する！

～2回目穂肥時期～
出穂期10日前（葉耳間長0 cm）

【出穂前10日頃の稲】



止葉

葉耳

止葉の1枚下の葉

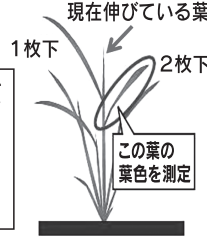
止葉の葉耳と1枚下の葉の葉耳(葉の付け根)同士が重なることで確認できる！

※この時の幼穂長は 8.0cm 程度

○穂肥施用のために生育診断（葉色、幼穂）を行いましょ！

葉色の測定方法

- ① 平均的な生育の株で最も長い茎を選ぶ
- ② その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ。
- ③ 5～10株程度を測定し平均する。




現在伸びている葉

1枚下

2枚下

この葉の葉色を測定


葉色カラースケール



葉の色が一番近い葉色板の数値を読む。
中間の数値は0.5単位まで（4に近ければ4.0、3と4の間の場合3.5）

単葉測定の場合は、群測定より0.8程度濃く見える

葉緑素計「SPAD-502」

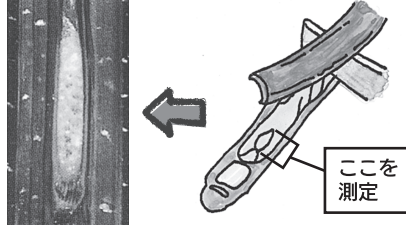


SPAD502

葉の真ん中のスジを避け、葉の長さの2/3くらいの箇所を測る。

幼穂の確認方法

- ① 圃場の平均的な生育の株から、最も長い茎を根っから採取する。（3～5か所から採取）
- ② カッターで茎を割るか、手でむいて幼穂を確認する。



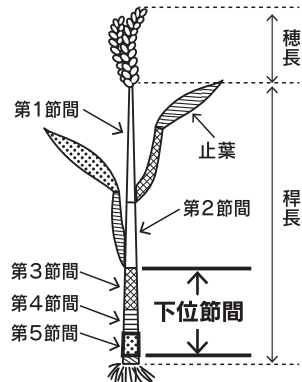
ここを測定

【幼穂の長さとお出穂前日数】

幼穂長	0.02 cm	0.1 cm	0.2～0.4 cm	0.5～1.0 cm	4.0～6.0 cm	8.0 cm
出穂前日数	30日前	24日前	20日前	18日前	12日前	10日前

【幼穂確認時に「下位節間」も確認し 穂肥判断に活用しましょう！】

幼穂確認時、倒伏との関連が高い下位節間を確認してみましょう。第5節間が大きく伸びている場合は、倒伏リスクが高くなるため穂肥の時期・量を調整しましょう！



穂長

葉長

第1節間

止葉

第2節間

第3節間

第4節間

第5節間

下位節間

【出穂後の稲体のイメージ図】

※令和3年は第5節間の伸長が抑えられたため倒伏防止につながりました！！

3. 穂肥施用時期と施用量の目安

穂肥1回あたりの窒素成分は10a 当たり、1～1.5kgが目安です。

施肥量の求め方 : 施肥したい窒素量 (kg) ÷ 成分率 (%) = 施肥量 (kg)
 (計算例) : (1.2kg) ÷ (0.12 (12%)) = (10kg)

◎窒素12%の肥料 10a 当たり窒素成分で1.2kg 施肥したい場合は10kg施用する。

【穂肥診断によるコシヒカリ施用時期と施用量の目安表】

診断時期：幼穂長 1.0cm（出穂前18日）時点

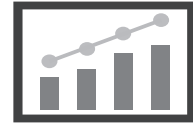
草丈	葉色	10a 施用目安（出穂前日数）	
		魚沼ロマン穂肥専用 (N: 15%)	有機30魚沼ロマン穂肥専用 (N: 12%)
75cm 以下 ➡	薄い 群落 2.5 単葉 3.5 SPAD30 以下	1回目 10kg (18日前) 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 13kg (18日前) 2回目 9～13kg (10日前)
	並み 群落2.5～3.5 単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 7～10kg (18～15日前) 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 9～13kg (18～15日前) 2回目 9～13kg (10日前)
	濃い 群落 3.5 単葉 4.5 SPAD35 以上	1回目 0～7kg (15日前) 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 0～9kg (15日前) 2回目 9～13kg (10日前)
80cm 程度 ➡	薄い 群落 2.5 単葉 3.5 SPAD30 以下	1回目 3～7kg (18日前) 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 5～9kg (18日前) 2回目 9～13kg (10日前)
	並み 群落2.5～3.5 単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 3～7kg (15日前) 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 5～9kg (15日前) 2回目 9～13kg (10日前)
	濃い 群落 3.5 単葉 4.5 SPAD35 以上	1回目 施用しない 2回目 7～10kg (10日前)	1回目 施用しない 2回目 9～13kg (10日前)
85cm 以上 ➡	薄い 群落 2.5 単葉 3.5 SPAD30 以下	1回目 3～7kg (18日前) 2回目 3～7kg (10日前)	1回目 5～9kg (18日前) 2回目 5～9kg (10日前)
	並み 群落2.5～3.5 単葉3.5～4.5 SPAD30～34	1回目 0～7kg (15日前) 2回目 3～7kg (10日前)	1回目 0～9kg (15日前) 2回目 5～9kg (10日前)
	濃い 群落 3.5 単葉 4.5 SPAD35 以上	1回目 施用しない 2回目 3～7kg (10日前)	1回目 施用しない 2回目 5～9kg (10日前)

※群落：葉色板群落測定 単葉：葉色板単葉測定

- 天候を踏まえて施用時期・施用量を調節してください。
- 出穂期までにSPAD値で32以下になる恐れがある場合は、緊急的に3回目の穂肥（出穂期3日前に硫安5kg/10a）施用を検討してください。

【大切なお知らせ】

肥料価格が上昇しています！



「令和5年度用 肥料農薬申込書」での 予約購買をお願いいたします

肥料価格情勢は、中国の輸出制限、ロシアのウクライナ侵攻、急激な円安、海上運賃上昇により、肥料原料の国際市況が史上最高値まで上昇しています。

JAグループでは調達先切り替え等により令和4年秋肥原料の必要量調達には目途が付きましたが、肥料価格については全銘柄の加重平均変動率34.6%の値上げ反映を余儀なくされました（令和3年11月～令和4年5月末対比）。

【肥料農薬申込書について】

JAでは7月中旬に「令和5年度用 肥料農薬申込書」を農家組合経由でお届けします。今回の「予約の取りまとめ」は生産者の皆様の必要数量をいち早く把握し、肥料・農薬原料の確実な調達のため、近年になく重要な予約注文となります。生産者の皆様の営農の実態に即した予約注文をお願いします。

【肥料農薬申込みにあたっての留意点】

- 情勢が不透明なこともあり、「令和5年度用 肥料農薬申込書」では「参考価格」でのご案内をさせていただいております。
- 肥料原料の世界的ひっ迫は当面継続する見通しであり、今後の情勢次第では「参考価格」を大幅に上回ることで、申込数量・申込銘柄の変更をお願いすること、納品時期の調整や使用原料の変更等も想定されます。
- あらかじめご予約いただいていない当用での販売には対応できない場合がございます。

JAでは今後の情勢、動向などの情報発信に努めます。また、「令和5年度用 肥料農薬申込書」を新たにご希望の方は、各アグリセンターへお気軽にご連絡ください。

< 資材課 >

アグリセンター大和 ☎777-2431 アグリセンター六日町 ☎773-6121
アグリセンターしおざわ ☎775-7488 アグリセンター湯沢 ☎785-5313

基本技術の励行による丈夫な稲づくり！

多くの方よりご参加をお待ちしております！

穂肥指導会のご案内

～令和4年産米安定した品質・収量の確保に向けた栽培基本技術の確認と徹底～
「2回目時期に重点を置いた穂肥施用の徹底」

《大和会場》

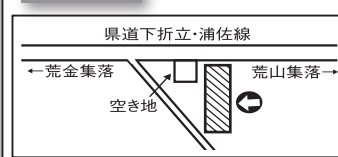
東地区

《雷土》



開催日時 **7月15日(金)**
夕方 18時30分～

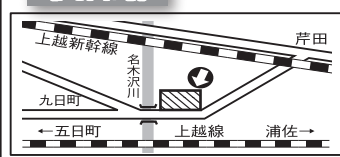
《桐沢》



開催日時 **7月15日(金)**
夕方 18時30分～

藪神地区

《九日町》



開催日時 **7月15日(金)**
朝 6時～

浦佐地区

《五箇》



開催日時 **7月15日(金)**
朝 6時～

大崎地区

《水尾》



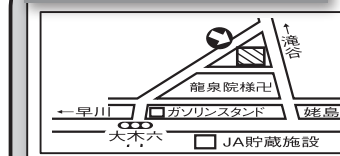
開催日時 **7月15日(金)**
夕方 18時30分～

《塩沢会場》

塩沢会場
2日間開催

塩沢地区

《しおざわカントリー》



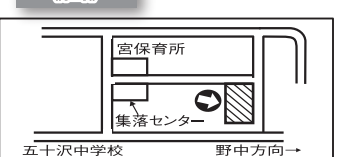
開催日時 **7月14日(木)**
朝 6時30分～

開催日時 **7月16日(土)**
夕方 18時30分～

《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



開催日時 **7月13日(水)**
夕方 18時30分～

城内地区

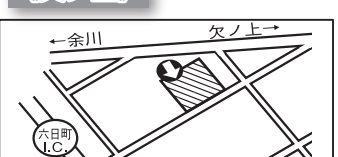
《新堀》



開催日時 **7月14日(木)**
夕方 18時30分～

六日町地区

《欠ノ上》



開催日時 **7月15日(金)**
朝 6時～

大巻地区

《青木新田》



開催日時 **7月15日(金)**
夕方 18時30分～

《湯沢会場》

湯沢地区

《湯沢支店》



開催日時 **7月19日(火)**
夕方 18時00分～



★ニンジン (年内収穫)

1. 播種時期

7月上旬～中旬までに播種しましょう。生育初期は高温乾燥期に当たりますが、比較的作りやすい安定した作型です。品種は耐暑・耐病性で形状・色・肥大性にすぐれたものや、耐寒性があり在園性のあるものを選びましょう。

2. 主な品種と特性

品種	収穫日数	根重(g)	根形	根色	根長(cm)	耐病性
向陽二号	110	200	やや肩張り円筒形	鮮紅	18	強
ひとみ五寸	110	200	やや肩張り円筒形	濃紅橙	18	強
交配黒田五寸	110	250	肩張り円筒形	濃鮮紅	18	強

3. 施肥例

(kg/10㎡)

肥料名	元肥量	追肥料		備考
		1回目	2回目	
粒状苦土炭カル	2.0			追肥は間引き終了後に行う。
苦土重焼燐	0.5			
MMB 燐加安	1.2			
NK 化成		0.2	0.2	

4. 播種

- ・条播の場合、畝幅75～80cm、株間3cm、条間25～30cmの2条蒔きにする。
- ・点播の場合、畝間75～80cm、株間10～12cm、1か所5粒蒔き、条間25～30cmの2列蒔きにする。
- ・種の必要量は6～8ml/10㎡
- ・鎮圧を良くして、覆土は薄くする。乾燥防止のため、敷きワラをすると良い。特に、播種後から発芽までは乾燥厳禁。

5. 間引き

- 1回目は本葉2～3枚です。点播は2～3本立ち、条播は3cm間隔を確保する。
2回目は本葉5～6枚です。点播は1本立ち、条播は10～12cm間隔を確保する。

6. 除草のポイント

ニンジン栽培では、間引きと除草がポイントとなります。播種後、全面散布が可能ですので、作業が楽にできます。

(10㎡当たり)

	品名	使用時期	使用量・散布量	使用回数	使用方法
1年生雑草	クレマート乳剤	定植前 (雑草発生前)	2～4ml/1～1.5ℓ	1回	全面土壌散布
	トレファノサイド乳剤	播種直後	2～3ml/1ℓ	1回	畦間土壌散布
※トレファノサイドはツユクサ科・カヤツリグサ科・キク科・アブラナ科を除く					

乾燥している場合は、粒剤より水和剤・乳剤の効果が高い。

★キャベツ (年内収穫)



1. 播種時期

地域の環境（標高、気温など）、品種と収穫時期を考えて播種時期を決めましょう。湯沢地区では7/10頃、それ以外は7/15～20日頃が目安となります。

2. 主な品種と特性

作型	品種名	草姿	定植後 収穫日数	球			耐暑性 ※耐寒性	耐病性	裂球の 早晚
				重量 (kg)	形	色			
春 夏まき	やひこ	やや開張	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	早
	やひこ A号	やや立性	約60日	1.5	扁円 五角形	光沢緑	良	良	中
	越の ひかり	やや開張	約70 ～75日	1.5 ～1.8	扁平 五角形	光沢緑	優	良	中
夏まき	雪みどり	やや立性	約90 ～120日	1.5	腰高 扁円形	淡緑	※特優	良	遅

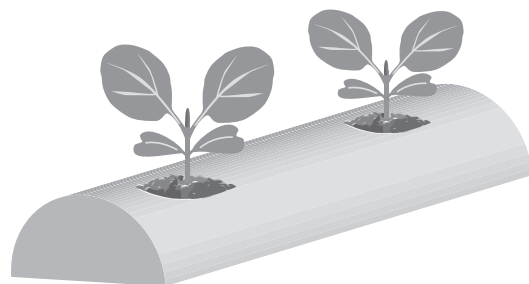
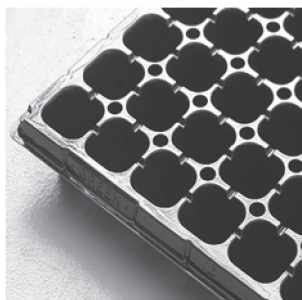
3. 育苗

セルトレー育苗をご紹介します。

プラグトレーに培土をしっかりと詰め、1穴に1粒ずつ種子を蒔きます。乾燥しやすいので、こまめなかん水が必要です。

また、アオムシ・コナガの被害を防ぐために防虫ネットの利用や、根こぶ病が例年発生している圃場ではフロンサイド粉剤の土壌混和などで予防を行いましょう。

セルトレーサイズ	育苗日数	定植時葉数
72穴または128穴	20～25日程度	本葉 2.0～2.5葉



JAからのお知らせ

資材課からのお知らせ

JA広報誌6月号に折り込みさせていただきました「令和4年度秋まき野菜種子予約注文書」につきまして、提出先・提出期限の記載が漏れていましたことに対してご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。

つきましては、秋まき野菜種子のご注文のある方は恐縮ですが、7月15日(金)までにJA各事業所へ提出願います。

今後このようなことがないように、事前確認を徹底致しますので何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

水分計点検のご案内

JAでは稲刈り前に水分計の点検を行います。下記により点検を受け付けますので、各施設に水分計をお持ち込みください。

	大和・六日町地区	塩沢・湯沢地区
持込場所	アグリセンター大和・六日町	農機センターしおざわ
持込期限	7月31日(日)	8月31日(水)
検査料	1,100円(税込) ※点検後使用不可となった場合は700円(税込)	
お問い合わせ 電話番号	大和 777-2431 六日町 773-6121	782-0036

※メーカー・機種により点検できない場合がございます。

※新たに水分計をご注文される方は各施設にお申し込みください。

アグリルックシステム(水稻圃場情報提供サービス)の活用について!

地域農業再生協議会とJAで連携し、気象変動に左右されない高品質米生産のため、情報提供体制を構築しています。是非、ご活用ください!

【人工衛星で圃場毎に確認できる内容】

- ◆生育状況マップ◆葉色マップ◆生育トレンド(生育状況)◆最高 / 最低 / 平均気温
- ◆積算温度◆出穂期予測◆日射量◆降水量◆

《アグリルックシステムへのアクセス》

URL : <https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/> ユーザID : user パスワード : user

一斉草刈り週間 ~カメムシからお米を守るために~ 7月2日(土)~7月10日(日)

一斉草刈りを行い、カメムシの生息密度を減らして斑点米被害から大切なお米を守りましょう!

畦畔除草剤の飛散に注意しましょう!

畦畔除草剤等の「非選択性茎葉処理」除草剤が、稲体に飛散すると薬害を生じ、葉や茎の退色、黄化を引き起こし、最悪の場合枯死する恐れがあります。稲の生育期間中に散布する場合は、無風の日や時間を選び、飛散しにくいノズルや飛散防止カバーなどを使用し、稲体に直接かからないように十分注意し散布を行ってください! また除草剤を散布する場合は、必ず水田畦畔に適用のある登録農薬を使用しましょう。

次号「あぜみち」予告

■稲作…2回目穂肥と病害虫対策について
※園芸は次号お休みです。

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和 : Tel 777-3786 しおざわ基幹センター : Tel 782-1171)
までお問い合わせください。